

SSH校・都立学校・中等教育学校長 殿  
関係教職員 殿

東京都立立川高等学校長  
吉田 順一  
(公印省略)

## 課題研究 講演会の御案内

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本校は、昨年度より 5 年間、文部科学省のスーパーサイエンススクール（SSH）校に指定され、

**「立高から世界へ」～新たな時代を切り拓き国際社会でたくましく活躍する科学技術人材の育成～**

というテーマの元に、新たな教育をスタートさせました。1 学年に SS 課題研究 I、2 学年から SSH クラスにおいて SS 課題研究 II、III で課題研究を配置して探究活動を進めています。1 学年では全員が課題研究を行い、探究の方法を学び、2 学年からは自ら問題を発見し解決する能力や、科学的な思考力、表現力等の伸長を図ります。SSH 校として課題研究を柱にした探究プログラム開発が課題の一つとなっています。

今回の講演会は、この取組の 2 年目を進める教員に向けて、**課題研究メソッドのテキスト（啓林館）**を著した**岡本尚也氏**に、課題研究の意義や国際社会に視野を広げていくことの意味、組織的取組の他校事例や取組を進める上での課題、高大接続やグローバル人材育成の動向について語っていただきます。

課題研究や探究的な学習に興味を持っておられる方々にも御参加いただきたく、案内申し上げます。

### 記

- |         |   |                                |             |
|---------|---|--------------------------------|-------------|
| 1 日 時   | 10 月 30 日（水）  | 講演会                            | 15:30～17:00 |
|         |   | 課題研究に関する情報交換会                  | 17:15～18:15 |
| 2 場 所   | 都立立川高等学校  | 3 F 会議室（講演会）<br>4 F 講義室（情報交換会） |             |
|         | 〒190-0022 立川市錦町 2-13-5 TEL 042(524)8195 FAX 042(527)9906<br>JR 中央線・南武線 立川駅下車・南口から徒歩 8 分 |                                |             |
| 3 講演テーマ | 「生徒の可能性を広げる課題研究<br>- 探究の進め方、高大接続の動向、グローバル人材育成の動向 -」                                     |                                | 講師 岡本尚也 氏   |
| 4 申し込み  | 10月28日（月）までにメール（Toshinobu_Fukuhara@member.metro.tokyo.jp）にて申し込み                         |                                |             |
| 5 問い合わせ | 東京都立立川高等学校 副校長 福原 利信<br>SSH 部主任 可長 清美   |                                |             |

講師紹介：岡本 尚也氏（社団法人 Glocal Academy 代表理事）

1984 年、鹿児島県に生まれる。慶應義塾大学理工学部卒、同理工学研究科修了後、ケンブリッジ大学で物理学博士号を取得。さらに、オックスフォード大学にて日本学修士号を取得。ケンブリッジ大学在学中の研究成果をまとめた論文が Nature Materials など、世界のトップジャーナルに掲載される。帰国後、NPO 法人グローバルアカデミーを創業。現在は、後進の育成や、社会や学術における諸課題に取り組む個人および団体を支援する一般社団法人 Glocal Academy 代表理事。全国の SGH や SSH の課題研究指導・教育プログラム作成等の支援のほか、大学や企業の支援も行っている。2016 年には啓林館より『課題研究メソッドより良い探究活動のために一』を出版。

## 課題研究に関する講演会・情報交換会 実施要項

東京都立立川高等学校長

吉田 順一

- 1 目 的 本校は、昨年度より 5 年間、文部科学省のスーパーサイエンススクール（SSH）校に指定され、「立高から世界へ」～新たな時代を切り拓き国際社会でたくましく活躍する科学技術人材の育成～というテーマの元に、新たな教育をスタートさせた。1 学年に SS 課題研究Ⅰ、2 学年から SSH クラスにおいて SS 課題研究Ⅱ、Ⅲで課題研究を配置して探究活動を進めている。1 学年では文理を問わないテーマで課題研究を行い、探究の方法を学ぶ中で、2 学年からは自ら問題を発見し解決する能力や、科学的な思考力、表現力等の伸長を図る。SSH 校として課題研究を柱にした探究プログラム開発が求められる課題の一つとなっている。

今回の講演会は、この取組みの 2 年目を進める教員に向けて、課題研究メソッドのテキスト（啓林館）を著した岡本尚也氏に、課題研究の意義や国際社会に視野を広げていくことの意味、組織的取組の他校事例や探究を進める上での課題、高大接続の動向、グローバル人材育成の動向について語っていただく。

また講演会後には、他校の先生方も交え、課題研究の進め方や課題について岡本先生からご助言をいただきながら話し合う情報交換会を開催する。

- 2 日 時 10 月 30 日（水） 講演会 15：30～17：00  
課題研究に関する情報交換会 17：15～18：15

- 3 場 所 都立立川高等学校 3F 会議室（講演会）  
4F 講義室（情報交換会）

- 4 講演テーマ 「生徒の可能性を広げる課題研究  
- 探究の進め方、高大接続の動向、グローバル人材育成の動向 -」  
講師 岡本尚也氏（一般社団法人 Glocal Academy 代表理事）

## 講師経歴：

1984 年、鹿児島県に生まれる。慶應義塾大学理工学部卒、同理工学研究科修了後、ケンブリッジ大学で物理学博士号を取得。さらに、オックスフォード大学にて日本学修士号を取得。ケンブリッジ大学在学中の研究成果をまとめた論文が Nature Materials など、世界のトップジャーナルに掲載される。帰国後、NPO 法人グローバルアカデミーを創業。現在は、後進の育成や、社会や学術における諸課題に取り組む個人および団体を支援する一般社団法人 Glocal Academy 代表理事。全国の SGH や SSH の課題研究指導・教育プログラム作成等の支援のほか、大学や企業の支援も行っている。2016 年には啓林館より『課題研究メソッド—より良い探究活動のために—』を出版。

- 5 担 当 SSH 部主任：可長清美

- 6 備 考 全都立高校・中等教育学校に案内を出し、教員研修の場とする。